



新年度が始まりました ～心も新たに～

子どもたちのさわやかなあいさつとともに、新年度がスタートしました。まず、この春から山鹿中学校に赴任した教職員の新任式を行いました。「生徒と顔を合わせるのを楽しみにしていた」「これから一緒に活動できることにわくわくしている」と本校での勤務を楽しみにしていることが伝わってきました。

始業式では、代表生徒3名が1学期の目標を発表しました。船津鈴乃さんは、「信頼される人になる。そのために、やるべき事がやれるようになる。そして、みんなが本当の笑顔で過ごしていけるように頑張っていく。」と堂々と話しました。岩田幸之助君は、「志望校を目指し、一工夫のある学習に取り組む。部活動では、県大会優勝、九州大会出場を目標に掲げ、たくさんの仲間との思い出をつくる。」と目標を明確に伝えました。大林優明さんは、「何事も後回しにせず、目標を決めて過ごそう。これまで身につけた力を発揮し、楽しい学校を創り上げよう。」と大きな視点で呼びかけました。

校長は、年度始まりにあたり、「志・目標」と「当たり前のことを当たり前続ける・凡事徹底」について話をしました。「こんな人になりたい」「こんなことができるようになりたい」という志・目標をもって、一日一日、目標に向かって少しずつ努力する生活を送れば、大抵のことは実現できるし、近づく。また、誰にでもできることを、誰にもできないくらい、徹底して続けることで大きな成果を得ることができる。ことを伝え、生徒と先生方が一つになって頑張っていこうと結びました。

式に臨む生徒の態度は大変立派で、表情にも頑張ろうという思いが表れていました。特に、担任発表時の明るい笑顔、温かな拍手や歓声。子どもたちのために精一杯取り組もうという思いがさらに高まった瞬間でした。

担任等、職員一覧は次回以降にお知らせします。

